

ナットボタンの特長と取り扱い上の注意

【特長】

ナット釦は、主にエクアドル産の“タグア椰子”という椰子の種を原料として作られています。この椰子は種の中身が白くて硬く、象牙のような風合いがあることから、別名“象牙椰子”とも呼ばれ、象牙の代用品としてアクセサリー等に古くから使われてきました。

この釦は、年輪状の柄があり色付け（染色）した際にぼんやりとした濃淡が出ることで、暖かくやわらかい雰囲気のある高級釦の一つです。

レーザー彫刻加工による文字入れや柄入れも可能です。

加工期間・加工ロット等につきましては、各担当者までお問い合わせください。

【取り扱い上の注意】

1個の釦の中にも色が染まりやすい部分と染まりにくい部分があり、濃淡が出やすい素材です。また、時間が経つにつれ実の黄変や色の退色により変色していきますので、製造時期により色が異なります。

染色後は色止め処理を行っておりますが、実の質により効果の低いものもあり、色落ちの危険性もありますので、生地と同系色に合わせてお使いください。

原料の性質上、水に浸けたりすると含水して膨張します。乾燥すれば元の大きさに戻りますが、急激に乾燥すると割れてしまいます。

縫製後に製品加工をする場合、釦は必ず後から付けてください。

プレスの際、釦へ直接当たってしまうと割れや艶落ち等がおきる恐れがあります。

クリーニングの際は、釦を取り外すかアルミホイル等で保護し石油系ドライにて行ってください。

水洗いは移染や色落ちの危険があるため、避けてください。

その他、不明な点がございましたら各担当者までお問い合わせ下さい。